

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2013-249057(P2013-249057A)

【公開日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-067

【出願番号】特願2013-111726(P2013-111726)

【国際特許分類】

B 6 4 D 45/00 (2006.01)

【F I】

B 6 4 D 45/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月18日(2016.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

システムであって、

処理装置を有し、

前記処理装置は、航空機の、先端灯モジュール、胴体、発動機覆い、着陸装置、又は尾部構成要素のうちの少なくとも1つに取り付けられた1つ又は複数の検出器から検出器情報を受信し、前記1つ又は複数の検出器のそれぞれは、前記航空機の停止距離範囲に基づいて選択される視野を備え、

前記処理装置は、前記航空機の重量および現在の速度に基づいて、前記航空機の制動距離を決定し、

前記処理装置は、受信した検出器情報を決定された制動距離に基づいて、少なくとも1つの障害物を検知し、

前記処理装置は、前記航空機の前記少なくとも1つの翼先端灯モジュール、胴体、発動機覆い、着陸装置、又は尾部構成要素を表す少なくとも1つの特徴部を含む自機絵記号と、

前記検知された少なくとも1つの障害物に関連付けられた少なくとも1つの指示子と、を含む画像を生成し、

前記システムは、前記生成された画像を提示するように構成された表示装置を有する、システム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムであって、

前記少なくとも1つの特徴部は、航空機の左翼を表す第1特徴と、航空機の右翼を表す第2特徴とを有し、

前記生成された画像は、第1の検出適用範囲領域及び第2の検出適用範囲領域を含み、前記表示装置は、前記第1特徴に隣接する前記第1の検出適用範囲領域の先端、及び、前記第2特徴に隣接する前記第2の検出適用範囲領域の先端を提示し、前記少なくとも1つの指示子は、前記適用範囲領域の少なくとも1つの中に提示される、システム。

【請求項3】

方法であって、前記方法は、

処理装置において、

少なくとも 1 つの航空機の特徴部に取り付けられる 1 つ又は複数の検出器から検出器情報を受信し、前記 1 つ又は複数の検出器の各々は、前記航空機の停止距離範囲に基づいて選択される視野を備え、

前記航空機の重量および現在の速度に基づいて、前記航空機の制動距離を決定し、受信した検出器情報および決定された航空機の制動距離に基づいて、少なくとも 1 つの障害物を検知し、

前記航空機の前記少なくとも 1 つの特徴部を含む自機絵記号と、

前記検知された少なくとも 1 つの障害物に関連付けられた少なくとも 1 つの指示子と、を含む画像を生成し、

表示装置において、前記生成された画像を提示する、
方法。